■あさポケ次号は6月13日(日)の発行です。

6月13日(日) 東林サマーコンサート開催

合唱団「コーラス720」のメンバー募集中！

昨年のサマーコンサートの様子

東林地区などで活動する音楽サークルが出演する音楽イベント、第12回東林サマーコンサートが6月13日(日)午後1時から、東林公民館ホールで開かれる。入場無料。

出演はメイト花音(琴)、二胡(独奏)、ミューズCoCo(声楽&器楽)、ピュアサウンズ(マンドリン)、シャンテ・エレガント(女声アンサンブル)、銀の笛(フルートアンサンブル)、コーラス720(混声合唱)の7団体で、合唱や演奏などバラエティーに富んだ音楽が楽しめる。

プログラムの最後に登場する混声合唱団「コーラス720」は、毎年メンバーを一般から公募。今年も歌いたい方を募集している。曲目は「川の流れのように」「あの鐘を鳴らすのはあなた」の2曲。参加費300円、楽譜代1050円。練習日は5月22日、29日、6月5日、12日の4回で、いずれも東林公民館で午後3時～5時。練習には1回以上参加してくださいとのこと。申込みは公民館窓口で。

コーラスを楽しみたい方、歌いたい方は気軽にご参加を！　問い合わせは、東林公民館☎042(744)0087へ。

観光親善大使決まる

相模原市の魅力を積極的に市内外にPRする、今年度の相模原市観光親善大使(第4代)が決まり3月10日、市役所で委嘱式が行われた。

4代目の観光親善大使は(写真左から)、梶田直子さん(21・宮下本町在住)、高木真莉子さん(18・元橋本在住)、永尾知子さん(25・矢部在住)の3名で、名誉観光親善大使は昨年度に引き続き片山右京さんが務める。

任期は4月1日から来年3月31日までで、①公共的なイベントに参加し、観光PRに努める、②他都市との交流事業に参加し、市のシティセールスに努める、③公共的な広報活動に参加し、市の情報発信に努めるなどの内容。年間15回程度の出番があるという。

ふれあい伝言板

■クレマチスフェア

本日5月9日(日)10時～15時30分、麻溝公園で。クレマチスの展示販売や園芸相談、模擬店、野菜販売、スタンプラリーなど催し色々。

■ギャラリーSeed(シード)情報

▼第23回MITIKO個展「ヒーリングアートII温」＝開催中～5月19日(水)まで。現創美術協会会員で相模原市在住の洋画家MITIKOさんの心と体を癒すヒーリングアートの世界。温かさと優しさが感じられる作品の数々。9、12、16、19日は作家在廊。

問合せ＝シード☎042(78

5)3533。南台6－18－5

営業：11時～19時　木曜日定休

■親子で米作り隊

6月5日～11月28日(おもに土曜日)までの全6回、県立座間谷戸山公園・里山体験館前田んぼで。田植えから脱穀、収穫まで、親子で米作りを体験します。対象は座間市在住の小学生親子。参加無料。5月20日締切。申込み＝北地区文化センター☎042(747)3361。

■体力測定

6月6日(日)9時～正午、東林小校庭で(雨天中止)。参加無料。50㍍走、立ち幅跳び、垂直跳び、握力、肺活量、反復横跳びなどを測定します。参加は何種目でも可。運動に適した服装で。希望者は当日直接会場へ。問合せ＝東林公民館☎042(744)0087。

■親子でダンス

6月9日～10月20日までの水曜日全13回、北地区文化センターで。対象は3歳～未就学児の親子。時間は3～4歳児が15時～16時、5～6歳児が16時～17時(初回と2回目のみ15時～17時)。参加無料。運動不足の解消にストレッチやダンスを始めましょう。タオル、飲み物持参。動きやすい服装で。5月15日～受付開始。申込み＝北地区文化センター☎042(747)3361。

■ホタルの観察会

6月12日(土)17時～21時、東林公民館に集合し、道保川公園で観察。対象は館区内在住の小学4年生以上、先着20名。参加費100円。筆記用具、飲物、タオル、雨ガッパ持参、長袖・長ズボンでご参加を。5月30日～公民館窓口で申込み受付。問合せ＝東林公民館☎042(744)0087。

■親子アユ釣り体験教室

6月13日(日)7時45分、北地区文化センター集合。バスで中道志川(津久井)に移動し、アユの友釣りや石絵体験を行います。対象は座間市在住の小学生以上の親子。参加費1人1500円(昼食代等含む)。5月15日締切。申込み＝北地区文化センター☎042(747)3361。

■親子ビーチボール講習会

6月20日(日)9時30分～正午、東林小体育館で。ビーチボールは、柔らかいビニールのボールを使うバレーボールのような競技です。子供から大人まで気軽に楽しめます。参加無料。体育館履き、タオル、飲み物持参。希望者は当日直接会場へ。問合せ＝東林公民館☎042(744)0087。

みんなのサークル広場

ー セラバンド体操 ー

医療生協ハニー

「セラバンド」は整形外科などのリハビリ用に使われている幅の広いゴムバンドで、近年は中高年向けの健康づくりの運動用具としても普及している。

医療生協ハニーは、このセラバンドを使って健康づくりを行うサークルで、毎月1回(第3または第4水曜日)、東林公民館や東林ふれあいセンターに集まり、セラバンド元気体操を行っている。メンバーはおもに60代と70代で、毎回20名ほどが参加する。「休憩をとりながら約2時間、ゆっくりとしたトレーニングを行います。激しい運動を好む人には、物足りないと思いますが…」と世話人の中谷さん。この体操に参加する市健康づくり普及員の小澤さんは、「高齢者の転倒防止予防のために適度な筋力トレーニングになります。足、腰の筋力アップに、毎日少しずつ続けることが大切です」とのこと。

セラバンド体操を始めて、肩こりが解消した、ヒザや足首が丈夫になったなどと話すメンバーも。「自宅でやっている方もいますが、みんなでワイワイ、ガヤガヤやるのが楽しいし、続けられる」と中谷さん。最近は「月に2回はやりたいね」という声もあがっているという。

入会金2000円で、月会費はなし。セラバンドは1000円で、色によって負荷が違うそうだ。「ご一緒に健康づくりしませんか?」とメンバー募集中。連絡は、中谷さん☎042(749)3972(午後6時以降に)。

「賢い子」に育てるためのハッピー親子講座

第15回 子どもの才能を伸ばすことが子どもの幸せ

―― 椋木修三 ――

「幸せというのは人が決めるものではなく自分の心が決める」…たしか相田みつお氏の言葉だったと思います。

基本的にわが子の幸せを願わない親はいないものです。よって、親は当然子どもの幸せづくりのために懸命になり、また奔走もします。子どもに「勉強しなさい」と叱るのはそのためで、勉強をして、いい成績を取ることが子どもの将来の幸せに通じると信じるから当然、親として言うのだと思います。にもかかわらず、その親の気持ちも知らずに子どもは自分のしたいことをするから親と子の間に摩擦が起こるわけです。

しかし、その「幸せ感」は親が勝手にそう思うだけで、必ずしも勉強ができることが子どもの幸せに通じるとは限りません。少なくとも、親の言葉に耳を貸さない子どもはそう思っているはずです。親は親で「親の心、子知らず」と思い、子どもは子どもで「子どもの心、親知らず」と互いに思うのです。こうして、親子の間に溝ができるわけです。

誤解を恐れず、少し乱暴な言い方をすれば、子どもの幸せを願うなら、親が子どもの幸せづくりのために先頭に立つのではなく、子どもが自分で「幸せ感」を見つけられるように、後ろからサポートしてみたらどうかと思います。つまり、「後ろ」から援助してやるという考え方です。「後ろ」からという意味は、親の幸せ感を押し付けるのではなく、子どもが幸せを感じるのは何かを発見できるように「機会を提供し応援する」という意味です。

その一番のポイントが何かと言うと、子どもの「興味」です。子どもが何に興味を持つのかを知るために、親のできる範囲で機会を与えて観察するのです。よく芸術やスポーツ、その他各界で活躍する天才と言われる人たちの親は、その子どもの興味をカチッとつかんでそれを上手に育てていきます。天才を育てた親は、それが子どもの才能を伸ばすことを知っており、それが子どもの幸せに通じると信じているからです。特に子どもの興味のあることにはトコトンていこうという習性があります。その習性を利用しない手はありません。その興味が反社会的なものでない限り、しっかり応援してみてはどうでしょう。ひょっとして、あなたの子どもが将来日本を動かす人になるかもしれません。

認知症を学び地域で支えよう！

5月29日(土)「認知症サポーター養成講座」受講者募集

東林めだかの学校主催の『認知症サポーター養成講座』が5月29日(土)10時～12時、東林公民館ホールで行われる。対象は東林地区在住・在勤者。受講無料。

同講座は、認知症についてテキストやビデオなどで学び、地域のみんなが認知症の人や家族を支えるサポーターになり、誰もが暮らしやすい地域社会を作ろうというもの。受講した方には、認知症サポーターを証明するオレンジリングやバッジを進呈。

受講希望者は直接会場へ。先着80名。問い合わせは、実行委員長の佐藤さん☎042(748)7339まで。

朝日新聞とASAは、ベルマーク運動を応援しています。ASAは読者の集めたベルマークを近隣の学校に届けています。ベルマークを集めたら、ASAイワサキ☎042(743)0398までご一報ください。